



WEB会報

3月定例会を前に立憲民主党郡山市政懇談会

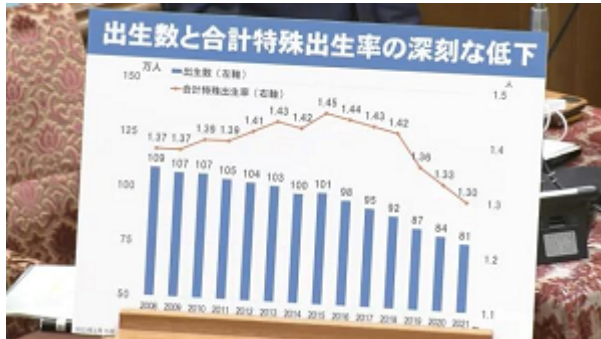


郡山市議会3月定例会が2月17日に開会しました。

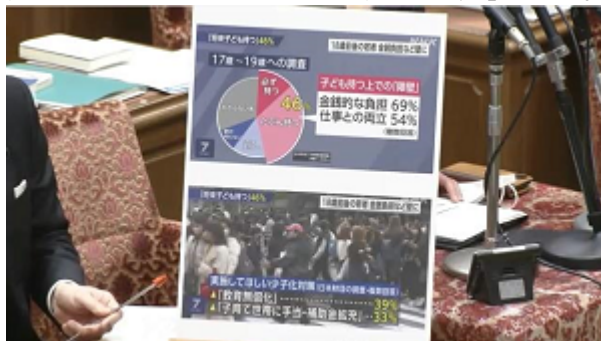
2月14日の市政懇談会では、品川市長がベビーファースト（子本主義）と銘打った総額21億5千万円余りの子育て支援事業を中心に、新年度予算案の全般にわたり意見交換が行われました。

翌15日、馬場雄基衆議院議員が、防衛費倍増で子ども関係予算が後回しでは？と岸田総理を追及しました。

出生率がこれほど低下した原因は何ですか？

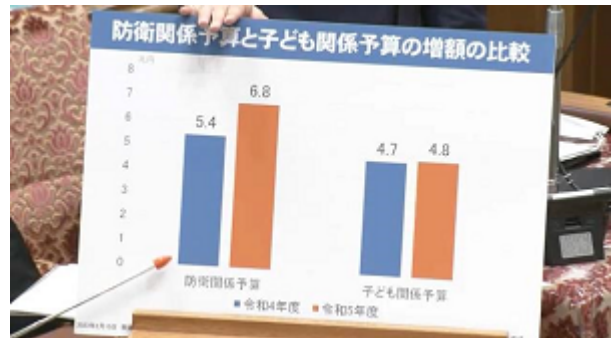


若者たちにとって、結婚し、子どもをもつことができないのは「金銭的」な要因です。一番に国に求めているのは「教育無償化」です。



別の資料でも明らかのように、日本の教育予算を含む「家族関係社会支出」の対GDP比はヨーロッパ諸国に比べて格段に低い水準となっています。

これを見て総理！防衛費に比べて、子ども・子育ては後回しになっているとの指摘に、上手く答えられるのでしょうか？



福島県民として申し上げます。防衛費倍増の財源に「復興特別所得税」の事実上転用は認められません。結局、子ども関係予算の財源ともども「社会保障費」など、将来に「国民負担」をつけまわす結果になりませんか。

